

5-1-2 リストの作成

リストを作成するには、変数名の後に「,」で区切った要素を[]でくくって、ひとまとめにします。

● 書式: リストの作り方

```
変数名 = [要素1, 要素2, 要素3 ……]
```

● リストの作成

変数lstに整数の「10」、小数を含む「3.14」、文字列「abc」と、それぞれデータ型が異なる3つの要素を入れてみましょう。

リスト5-1を記述し、C:\zero-python\c05フォルダにlist01.pyという名前で保存してください。実行結果は図5-1のとおりです。

▼ リスト5-1 リストの作成例 (list01.py)

```
01: lst = [10, 3.14, 'abc']  
02: print(lst)
```

```
C:\Users\p-user>cd c:\zero-python\c05
```

```
c:\zero-python\c05>python list01.py  
[10, 3.14, 'abc']
```

● 図5-2 リスト5-1の実行結果

これで、それぞれの要素が各部屋に入ったlstというリストができあがりました。

● リストの中にリストを入れて作成

リストの中にリストを入れる場合は、リスト5-2のように記述します。実行結果は図5-3のとおりです。

▼ リスト5-2 リストの中にリストを入れる例 (list02.py)

```
01: lst = [10, [1, 2, 3], 30]  
02: print(lst)
```

```
c:\zero-python\c05>python list02.py  
[10, [1, 2, 3], 30]
```

● 図5-3 リスト5-2の実行結果